



SEE MORE JESUS • WANTTOSEEMORE.COM

肉となった言 — ストロング番号付きKJV聖書study

約束され、そして肉となられた方 — 苦しむしもべ、インマヌエル、処女、ことば

聖書の基礎教理 — イエス・キリストの福音

開会の言葉

この研究は一つの問いを問う。イエスとは誰か。この部分は諸々の約束をたどっていく。十字架よりずっと前に記された、蔑まれ拒まれたしもべ。インマヌエル、すなわち「神われらと共にいます」という名の子を宿す処女。園で女に約束された種。そして、聞かれ、見られ、触れられた、肉となった言葉。約束が先にあった。それから、その人が来られた。この部分は、両方とも聖書自身の言葉で読んでいく。

本研究が答える三つの問い:

1. イザヤ書53章で預言者が語っている、悲しみの人とは誰のことか。
2. 主自ら約束されたしるしは何であり、インマヌエルという名は何を意味しますか。
3. イエス自身は、人が自分を見出すためにどこを見るべきだと言われたか。

OPENING ANCHOR(冒頭のアンカー)

E4. ミカ書 5:2 しかしベツレヘム・エフラタよ、あなたはユダの 氏族のうちで小さい者だが、イスラエルを治める者があなたのうちからわたしのために出る。その出るのは昔から、いにしえの日からである。
なんじより出でてイスラエルを治むる者あるべし --> その出づるところは、いにしえより、永遠の昔よりなり。

(私自身の考察:ミカ書5章2節の一文が、この研究全体の両端を握っている。この支配者は小さな町から出て来る。小さな町から出て来ることは、人が歩いて行ける場所での始まりである。この支配者の出て来ることは、いにしえより、とこしえより行われてきた。とこしえよりの出て来ることには、始まりというものが全くない。ミカはこの両方の真理を同じ一文の中で述べている。ミカはどちらの真理も和らげてはいない。)

D. 苦難のしもべ — 十字架がまだ存在しなかった時代に十字架を描いた章

D1. イザヤ書 52:13 見よ、わがしもべは栄える。彼は高められ、あげられ、ひじょうに高くなる。(14) 多くの人々が彼に驚いたように——彼の顔だちは、そこなわれて人と異なり、その姿は人の子と異なっていたからである——(15) 彼は多くの国民を驚かす。王たちは彼のゆえに口をつむぐ。それは彼らがまだ伝えられなかったことを見、まだ聞かなかったことを悟るからだ。

その顔だちは誰よりも損なわれていた-->このように彼は多くの国民に注ぎかけるであろう。

D2. イザヤ書 53:1 だれがわれわれの聞いたことを信じ得たか。主の腕は、だれにあらわれたか。(2) 彼は主の前に若木のように、かわいた土から出る根のように育った。彼にはわれわれの見るべき姿がなく、威厳もなく、われわれの慕うべき美しさもない。

だれがわれわれの聞いたことを信じ得たか? --> われわれの慕うべき美しさもない。

D3. イザヤ書 53:3 彼は侮られて人に捨てられ、悲しみの人で、病を知っていた。また顔をおおって忌みきらわれる者のように、彼は侮られた。われわれも彼を尊ばなかった。

悲しみの人で、病を知っていた --> 彼は侮られた。われわれも彼を尊ばなかった。

D4. イザヤ書 53:4 まことに彼はわれわれの病を負い、われわれの悲しみをになった。しかるに、われわれは思った、彼は打たれ、神にたたかれ、苦しめられたのだと。(5) しかし彼はわれわれのとがのために傷つけられ、われわれの不義のために砕かれたのだ。彼はみずから懲しめをうけて、われわれに平安を与え、その打たれた傷によって、われわれはいやされたのだ。

彼はわれわれのとがのために傷つけられ、われわれの不義のために打たれた。彼の受けた傷によって、われわれはいやされたのである。

D5. イザヤ書 53:6 われわれはみな羊のように迷って、おのおの自分の道に向かって行った。主はわれわれすべての者の不義を、彼の上におかれた。

われわれはみな羊のように迷って --> 主はわれわれすべての者の不義を、彼の上におかれた。

D6. イザヤ書 53:7 彼はしえたげられ、苦しめられたけれども、口を開かなかった。ほふり場にひかれて行く小羊のように、また毛を切る者の前に黙っている羊のように、口を開かなかった。

ほふり場にひかれて行く小羊のように --> 口を開かなかった。

D7. イザヤ書 53:8 彼は暴虐なさばきによって取り去られた。その代の人のうち、だれが思ったであろうか、彼はわが民のとがのために打たれて、生けるものの地から断たれたのだと。

彼は生ける者の地より断たれたり。わが民のとがのために彼は打たれたればなり。

D8. イザヤ書 53:9 彼は暴虐を行わず、その口には偽りがなかったけれども、その墓は悪しき者と共に設けられ、その塚は悪をなす者と共にあった。

彼は暴虐を行わず + その口には偽りがなかったけれども --> その墓は悪しき者と共に設けられ。

D9. イザヤ書 53:10 しかも彼を砕くことは主のみ旨であり、主は彼を悩まされた。彼が自分を、とがの供え物となすとき、その子孫を見ることができ、その命をながくすることができる。かつ主のみ旨が彼の手によって栄える。

なんじその魂を罪のためのささげ物となす時、彼はその裔を見、そのよわいを長くせん。

D10. イザヤ書 53:11 彼は自分の魂の苦しみにより光を見て満足する。義なるわがしもべはその知識によって、多くの人を義とし、また彼らの不義を負う。(12) それゆえ、わたしは彼に大いなる者と共に物を分かち取らせる。彼は強い者と共に獲物を分かち取る。これは彼が死にいたるまで、自分の魂をそそぎだし、とがある者と共に数えられたからである。しかも彼は多くの人の罪を負い、とがある者のためにとりなしをした。

彼はその魂を死に至るまで注ぎ出し + 彼は罪びとのひとりに数えられた --> 彼は多くの人の罪を負い、罪びとのためにとりなしをした。

(私の個人的な思い:イザヤ書53章9節を読み、続けてイザヤ書53章10節を順に読んでほしい。イザヤ書53章9節は、僕が死んで富める者の墓に葬られたと言っている。イザヤ書53章10節は、僕の魂が罪のためのささげ物とされた後、僕はその末を見、その日を長くすると言っている。この二つの記述は、死んだままの人物については両方とも真実ではあり得ない。復活はこのイザヤ書の章に書き記されている。復活が実際に起こる七百年も前に、この章にすでに書き記されているのである。)

異なる視点、同じ場面 — 預言者の書と、戦車の中でそれを声に出して読む人

使徒行伝 8:32 彼が読んでいた聖書の箇所は、これであった、「彼は、ほふり場に引かれて行く羊のように、また、黙々として、毛を刈る者の前に立つ小羊のように、口を開かない。(33) 彼は、いやしめられて、そのさばきも行われなかった。だれが、彼の子孫のことを語ることができようか、彼の命が地上から取り去られているからには」。 (34) 宦官はピリポにむかって言った、「お尋ねしますが、ここで預言者はだれのことを言っているのですか。自分のことですか、それとも、だれかほかの人のことですか」。 (35) そこでピリポは口を開き、この聖句から説き起して、イエスのことを宣べ伝えた。

預言者はこれを誰について語れるや。ピリポはこの聖句より始めて、イエスを彼に伝えたり。

(私の個人的な考え:これは、答えを一度も聞いたことのない人が声に出して尋ねた、正直な質問です。その質問とは、預言者は誰について語っているのか、というものです。答えはピリポの個人的な意見ではありません。ピリポはイザヤ書53章のまさにその箇所から始めました。ピリポはその箇所からイエスを宣べ伝えました。使徒たち自身によるイザヤ書53章の読み方が、私たちのために書き記されています。誰も使徒たちのイザヤ書53章の読み方について推測する必要はありません。)

E. インマヌエル——神われらと共に、生まれた子、与えられた子

E1. イザヤ書 7:14 それゆえ、主はみずから一つのしるしをあなたがたに与えられる。見よ、おとめがみごもって男の子を産む。その名はインマヌエルとなえられる。

原語キー / **STRONG' S:** ■ H5959 almah ・ ■ H6005 Immanuwel

それゆえ、主はみずから一つのしるしをあなたがたに与えられる --> 見よ、おとめがみごもって男の子を産む。その名はインマヌエルとなえられる。

E2. イザヤ書 9:6 ひとりのみどりごがわれわれのために生れた、ひとりの男の子がわれわれに与えられた。まつりごとはその肩にあり、その名は、「霊妙なる議士、大能の神、とこしえの父、平和の君」ととなえられる。(7) そのまつりごとと平和とは、増し加わって限りなく、ダビデの位に座して、その国を治め、今より後、とこしえに公平と正義とをもってこれを立て、これを保たれる。万軍の主の熱心がこれをなされるのである。

原語キー / **STRONG' S:** ■ H6382 pele

ひとりのみどりごがわれらのために生れ、ひとりの男の子がわれらに与えられる --> その名は、力ある神、とこしえの父となえられる --> その政治と平和とは、増し加わって限りなく。

(私個人の考え:イザヤ書9章6節にある二つの動詞の順序に注目してほしい。この二つの動詞は同じ動詞ではない。この順序は偶然ではない。子が生まれた。世継ぎが与えられた。生まれるということは、その子がどのようにしてこの世に来たかを表している。与えられるということは、すでに存在していた御子に起こった出来事を表している。次に、この子に与えられた名前について考えてみよう。イザヤ書9章6節は、この子が全能の神のようであると言っているのではない。イザヤ書9章6節は「その名は、全能の神となえられる」と言っている。最初に挙げられている名前、「奇しき者」はペレ(H6382)である。ペレは、士師記13章でマノアが名前を尋ねても得られなかった答えと同じ語根を持つ。イザヤ書9章6節では、その名が与えられている。)

E3. イザヤ書 9:2 暗やみの中に歩んでいた民は大いなる光を見た。暗黒の地に住んでいた人々の上に光が照った。

暗やみの中に歩んでいた民は大いなる光を見た。

F. 女の子孫と処女 — 最初の約束とその成就

F1. 創世記 3:15 わたしは恨みをおく、おまえと女とのあいだに、おまえのすえと女のすえとの間に。彼はおまえのかしらを砕き、おまえは彼のかかとを砕くであろう」。

おまえの種と女の種との間に --> それは汝の頭を砕き、汝はそのかかとを砕くであろう。

(私の個人的な考え:神は、罪がこの世界に入り込んだ時、園の中で蛇に創世記3:15を語られた。創世記3:15は、聖書全体の中で最初に語られる救い主の約束である。この節が誰の子孫と名指ししているかに注目してほしい。聖書の残りの部分を通して、家系の系図は男性を通してたどられている。例えば、アブラハムの子孫やダビデの子孫である。ここでは、まさに初めのこの一度だけ、名指しされている子孫は「女の」子孫である。また、この節にある二つの傷にも注目してほしい。それらは同じ大きさではない。女の子孫のかかとは砕かれる。蛇の頭は打ち砕かれる。)

F2. ガラテヤ人への手紙 4:4 しかし、時の満ちるに及んで、神は御子を女から生れさせ、律法の下に生れさせて、おつかわしになった。(5) それは、律法の下にある者をあがない出すため、わたしたちに子たる身分を授けるためであった。

神はその御子を女から生まれさせて遣わされた-->律法の下にある者を贖い出すためである。

(私自身の考え:ガラテヤ4章4節は、神が御子を「遣わされた」と述べている。ガラテヤ4章4節はその後、御子が「女から生まれた」と述べている。「遣わす」がその文の中で最初に述べられている。「誕生」はその文の中で二番目に述べられている。この順序には意味がある。ある人がすでにその場所に存在していなければ、その人はその場所から遣わされることはない。)

異なる視点、同じ光景 — 約束されたしるしと、与えられたしるし

イザヤ書 7:14 それゆえ、主はみずから一つのしるしをあなたがたに与えられる。見よ、おとめがみごもって男の子を産む。その名はインマヌエルとなえられる。

見よ、おとめがみごもって男の子を産む。その名はインマヌエルとなえられる。

マタイによる福音書 1:18 イエス・キリストの誕生の次第はこうであった。母マリヤはヨセフと婚約していたが、まだ一緒にならない前に、聖霊によって身重になった。(19) 夫ヨセフは正しい人であったので、彼女のことが公けになることを好まず、ひそかに離縁しようと決心した。(20) 彼がこのことを思いめぐらしていたとき、主の使が夢に現れて言った、「ダビデの子ヨセフよ、心配しないでマリヤを妻として迎えるがよい。その胎内に宿っているものは聖霊によるのである。(21) 彼女は男の子を産むであろう。その名をイエスと名づけなさい。彼は、おのれの民をそのもろもろの罪から救う者となるからである」。(22) すべてこれらのことが起ったのは、主が預言者によって言われたことの成就するためである。すなわち、(23) 「見よ、おとめがみごもって男の子を産むであろう。その名はインマヌエルと呼ばれるであろう」。これは、「神われらと共にいます」という意味である。

なんじその名をイエスと名づくべし。この者おのが民をその罪より救い給わん --> 彼らはその名をインマヌエルと呼ぶであろう、これを訳せば「神われらと共にいます」という意味である。

(私自身の考察:両方の記事の違いは、その教えにある。イザヤ書7章14節では、「彼女が」その子の名をインマヌエルと呼ぶ、と言っている。マタイによる福音書1章23節では、「彼らが」その子の名をエマヌエルと呼ぶ、と言っている。イザヤの記事では、一人の母が自分の赤ん坊に名をつける。マタイの記事では、すべての人がイエスに名をつける。マタイはまた、読者が推測する必要のないことを行っている。マタイは立ち止まり、マタイによる福音書の本文そのものの中で、読者のためにその名を訳している。どの時代の読者も、エマヌエルという名が何を意味するかを見逃すことはできない。エマヌエルとは、神が私たちと共におられる、という意味である。マタイはまた、イエスの誕生が単にマタイにイザヤの預言を思い出させたとは言っていない。マタイは、これらすべてのことは、イザヤの預言が成就されるために「なされた」のだと言っている。)

F3. ルカによる福音書 1:31 見よ、あなたはみごもって男の子を産むでしょう。その子をイエスと名づけなさい。(32) 彼は大いなる者となり、いと高き者の子と、となえられるでしょう。そして、主なる神は彼に父ダビデの王座をお与えになり、(33) 彼はとこしえにヤコブの家を支配し、その支配は限りなく続くでしょう」。(34) そこでマリヤは御使に言った、「どうして、そんな事があり得ましょうか。わたしにはまだ夫がありませんのに」。(35) 御使が答えて言った、「聖霊があなたに臨み、いと高き者の力があなたをおおうでしょう。それゆえに、生れ出る子は聖なるものであり、神の子と、となえられるでしょう。

われ未だ夫を知らぬに、如何でこの事あるべき --> なんじより生まるる聖なる者は、神の子と称えられん。

(私個人の考え:ルカによる福音書1章34節にあるマリアの問いは、理にかなった問いである。人々は今なおマリアが尋ねたのと同じ問いを問い続けている。マリアに与えられた答えは論証ではない。マリアに与えられた答えは、神がまさに行おうとしていることの告知である。ルカによる福音書1章32節で名指されている王座に注目してほしい。「その父ダビデの王座」である。これはイザヤ書9章7節がその子が座ると言った、まさに同じ王座である。これは詩篇110篇が書かれた対象である、まさに同じ王家である。)

G. 言は肉となった——そして人はいかにして実際に彼を見出すか

G1. ヨハネによる福音書 1:1 初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。(2) この言は初めに神と共にあった。(3) すべてのものは、これによってできた。できたもののうち、一つとしてこれにやらないものはなかった。(4) この言に命があった。そしてこの命は人の光であった。

原語キー / **STRONG' S:** ■ G3056 logos

初めに言があった。言は神とともにあった。言は神であった --> すべてのものは、この方によって造られた。

(私の個人的な考え:ヨハネ1:1は一行の中に三つの文を提示している。三つの文はすべて必要である。第一の文は「言は初めにあった」である。言、すなわち人としての体を取る前の神の御子を指す称号は、始まりの点を持たなかった。第二の文は「言は神と共にあった」である。言は単に父なる神の別名ではない。なぜなら、ある人格が自分自身と共にあることはできないからである。第三の文は「言は神であった」である。言は神の傍らに立つ劣った存在ではない。三つの文のうちどれか一つでも取り除けば、ヨハネが書いた文とは異なる文になってしまう。)

G2. ヨハネによる福音書 1:14 そして言は肉体となり、わたしたちのうちに宿った。わたしたちはその栄光を見た。それは父のひとり子としての栄光であって、めぐみとまこととに満ちていた。

原語キー / **STRONG' S:** ■ G4637 skenoo

言は肉体となりて我らの中に宿り給えり + 我らその栄光を見たり --> 父の独り子の栄光としての栄光なり。

異なる視点、同じ場面 — 荒野の幕屋と、からだという幕屋

出エジプト記 25:8 また、彼らにわたしのために聖所を造らせなさい。わたしが彼らのうちに住むためである。

また、彼らにわたしのために聖所を造らせなさい-->わたしが彼らのうちに住むためである。

ヨハネによる福音書 1:14 そして言は肉体となり、わたしたちのうちに宿った。わたしたちはその栄光を見た。それは父のひとり子としての栄光であって、めぐみとまことに満ちていた。

そして言は肉体となり+わたしたちのうちに宿った。

(私自身の考え:ヨハネによる福音書1章14節でヨハネが「住まわれた」に用いているギリシャ語はスケーノオー(G4637)です。スケーノオーとは、天幕を張り、その天幕に住むという意味です。古代、神はイスラエルの民に、神がイスラエルの民の間に住むことができるように天幕を建てるよう命じられました。イスラエルの民は、皮、木、金でその天幕を建てました(出エジプト記25章8節)。ヨハネによる福音書1章14節では、同じ絵姿が再び現れますが、その天幕とは人間の体のことです。荒野の天幕は、ヨハネが描く真理を先取りして示す絵姿でした。荒野の天幕は、イエス・キリストの体を指し示していました。新約聖書は、荒野の天幕が指し示していたものを新約聖書自身が明らかにした後になって初めて、それを影、すなわちイエス・キリストを指し示す絵姿として明らかにします。ヨハネはこの真理を、イエス・キリストの体について、ヨハネによる福音書1章14節で明確に述べています。)

G3. コロサイ人への手紙 1:15 御子は、見えない神のかたちであって、すべての造られたものに先だって生れたかたである。(16) 万物は、天にあるものも地にあるものも、見えるものも見えないものも、位も主権も、支配も権威も、みな御子にあって造られたからである。これらいっさいのものは、御子によって造られ、御子のために造られたのである。(17) 彼は万物よりも先にあり、万物は彼にあって成り立っている。

すべての造られたものに先だって生れたかたである+彼は万物よりも先にあり-->万物は彼にあって成り立っている。

G4. コロサイ人への手紙 2:9 キリストにこそ、満ちみちているいっさいの神の徳が、かたちをとって宿っており、(10) そしてあなたがたは、キリストにあって、それに満たされているのである。彼はすべての支配と権威とのかしらであり、

彼のうちに神のすべての満ち満ちたものが形をとって宿っている-->あなたがたは彼にあって満ち足りている。

G5. どのように彼を見出すか — 主はどこを見るべきか教えられた

ヨハネによる福音書 5:39 あなたがたは、聖書の中に永遠の命があると思って調べているが、この聖書は、わたしについてあかしをするものである。(40) しかも、あなたがたは、命を得るためにわたしのもとにこようとしなさい。

聖書を調べよ — それはわたしについてあかしするものである。

(私個人の思感想: イエスはヨハネによる福音書5章39-40節で、当時生きていた誰よりも聖書に精通していた人々に、このことを語られた。これらの人々は聖書を暗唱することができた。イエスはこれらの人々に、彼らが暗記していた聖書全体が、ご自身を指し示していると告げられた。イエスはこれらの人々に、それでもなお彼らはいのちを得るために御自身のもとに来ようとしないといふ告げられた。聖書の言葉を知っていることは、その言葉が指し示す人物を知っていることと同じではない。いのちを求めて他に探すべき場所はない。イエスは「あなたがたの感情を探れ」とは言われなかった。イエスは「聖書を探れ」と言われた。)

G6. ルカによる福音書 24:25 そこでイエスが言われた、「ああ、愚かで心のにぶいたため、預言者たちが説いたすべての事を信じられない者たちよ。(26) キリストは必ず、これらの苦難を受けて、その栄光に入るはずではなかったのか」。(27) こう言って、モーセやすべての預言者からはじめて、聖書全体にわたり、ご自身についてしるしてある事どもを、説きあかされた。

モーセをはじめすべての預言者から始めて-->聖書全体にわたって、自分について書かれていることを彼らに説明された。

G7. ルカによる福音書 24:32 彼らは互に言った、「道々お話しになったとき、また聖書を説き明してください。さったとき、お互の心が内に燃えたではないか」。

道にて我らと語り、我らに聖書を説き明かしたまへる時、我らの心は内に燃えしならずや。

G8. ルカによる福音書 24:44 それから彼らに対して言われた、「わたしが以前あなたがたと一緒にいた時分に話して聞かせた言葉は、こうであった。すなわち、モーセの律法と預言書と詩篇とに、わたしについて書いてあることは、必ずことごとく成就する」。(45) そこでイエスは、聖書を悟らせるために彼らの心を開いて

すべてモーセの律法、預言者たち、および詩篇に、わたしについて録されたる事は、必ず成就すべし --> かくて彼らの心を開きて悟らしめ給えり。

(私の個人的な考え:ルカ24:44-45は、この研究全体が問にかけている質問への答えを与えている。この答えは、イエスが墓からよみがえった後、イエス自身の口から語られたものである。イエスは旧約聖書の三つの区分、すなわちモーセの律法、預言者、そして詩篇を挙げられた。この三つの区分を合わせたものが旧約聖書全体である。イエスは旧約聖書全体にご自身についての事柄が含まれていると言われた。イエスは旧約聖書の一部だけにご自身についての事柄が含まれているとは言われなかった。それからイエスは弟子たちのために二つの別々のことを行われた。イエスは弟子たちに聖書を開かれた。イエスは弟子たちの理解を開かれた。人はこの両方を必要とする。人は聖書全体を自分の手に持っていて、なおイエスにその目を開いていただき、聖書の中にイエスを見る必要がある。聖書を読みなさい。イエスに聖書を開いてくださるようお願いなさい。聖書を読み続けなさい。)

閉会

G9. ヨハネの第一の手紙 1:1 初めからあったもの、わたしたちが聞いたもの、目で見えたもの、よく見て手でさわったもの、すなわち、いのちの言について—— (2) このいのちが現れたので、この永遠のいのちをわたしたちは見て、そのあかしをし、かつ、あなたがたに告げ知らせるのである。この永遠のいのちは、父と共にいましたが、今やわたしたちに現れたものである—— (3) すなわち、わたしたちが見たもの、聞いたものを、あなたがたにも告げ知らせる。それは、あなたがたも、わたしたちの交わりにあずかるようになるためである。わたしたちの交わりとは、父ならびに御子イエス・キリストとの交わりのことである。

聞きし所 + 目にて見し所 + つらつら視し所 + 手にて觸りし所 --> 父と偕に在りて、われらに顯れたる永遠の生命

(私自身の考え:ヨハネはヨハネの第一の書1章1節で、意図的に感覚を並べています。聞いたもの、見たもの、じっと見つめたもの、そして手で触ったもの。ヨハネは感情や観念を描写しているではありません。ヨハネは共に食事をした一人の人物について描写しているのです。同じ文の中で、ヨハネはその人物を「父と共にあった永遠のいのち」と呼んでいます。使徒たちが手で触った人物は、はじめの前から父と共におられた、その同じ人物なのです。それがヨハネの第一の書1章1-3節全体の主張です。ヨハネはこの主張についての理論家ではなく、証人であると述べているのです。)

練習クイズ

1. イザヤ書7章14節 — 見よ、処女が身ごもって子を産む。

- a) その名をイエスと名づくべし
- b) その名をインマヌエルと呼ぶべし
- c) 彼らはその名をインマヌエルと呼ぶであろう

2. イザヤ書53章3節 — 彼は侮られて人に棄てられ、

- a) されどその口を開かざりき
- b) その打たれし傷によりて我らは癒されたり
- c) 悲しみの人であり、苦しみに慣れた者

3. イザヤ書53:6 — 私たちはみな羊のように迷い出て、おのおの自分の道に向かって行った、

- a) 主はわれらすべての者の不義を彼の上に置かれた
- b) 彼は多くの人の罪を負い
- c) しかし私たちは彼を、神に打たれ、苦しめられた者と思った

4. ミカ書5:2 — あなたのうちから、イスラエルのために治める者となるべき者が、私のために出て来る、

- a) その國は終ることなかるべし
- b) ダビデの位と、その國の上に
- c) その出でし所は昔より、永遠の日より

5. ガラテヤ人への書4章4節 — しかし、時が満ちるに及んで、

- a) 神は女より生れしその子を遣し
- b) 聖霊なんぢに臨み
- c) おのれの民をその罪より救ひ給ふべし

6. ヨハネ1:14 — 言は肉體となりて:

- a) ことばは神と共にあり
- b) そして私たちの間に住まれた
- c) 之によらで成りたる物は無し

7. ヨハネによる福音書5:39 — あなたがたは聖書を調べている、その中に永遠の命があると思っているからである、

- a) そのいのちは人の光なりき
- b) これ我につきて證するものなり
- c) 我らに聖書を説き明したまへる時

正解: 1-b, 2-c, 3-a, 4-c, 5-a, 6-b, 7-b

このスタディの分岐

--> 余談:創世記3章15節の「女の子孫」は、約束された子孫という主題全体への入り口となっている。この主題は、アブラハム(創世記22章18節)を通り、ダビデ(詩篇132篇11節)を通して続き、ガラテヤ人への手紙3章16節ではっきりと名指しされている。

ギリシャ語キーワード

“言” — **G3056 logos** — ことば;言い伝えられること;語られたこと;思いの表現

ヨハネはヨハネの福音書を誕生の記事から始めていない。ヨハネはヨハネの福音書を、初めよりも前から始めている。

“宿った” — **G4637 skenoo** — テントを張ること、宿営すること、テントに住むこと

「言は肉体となりて我らの中に宿れり。」この節は、人が天幕に住むように、神が人間の体の中に住まれたことを描いている。

ヘブライ語キーワード

“素晴らしい” — **H6382 pele** — 驚き;不思議;理解を超えたもの

ペレは、イザヤ書9章6節でその子に与えられた最初の名である。

“処女” — **H5959 almah** — 未婚の若い女性、処女、乙女

アルマーはイザヤ書7章14節で用いられている言葉である。

“インマヌエル” — **H6005 Immanuwel** — 神は我々とともにいる

インマヌエルとは、それ自体で一つの文を成す名である。マタイはこの名を読者のために訳している。

SOURCES & CREDITS

Scripture: Kougo (Colloquial) (Public Domain (1955 口語訳聖書 — Japan Bible Society's own copyright page confirms the copyright protection period has ended; see registry/JAPANESE_LEGAL_PATH.md. Moral/integrity rights are preserved under Japanese law, so the text is rendered verbatim only, never altered -- pipeline.VERBATIM_LANGS.)) — a redistributable edition, looked up exactly and never machine-translated.

Alternate chapter/verse numbering reconciled with STEP Bible TVTMS (CC BY 4.0).

Strong's numbering & original-language data: OpenScriptures Hebrew Bible (CC BY 4.0); STEP Bible.org — TAHOT/TAGNT/TBESH/TBESG (CC BY 4.0);

Robinson-Pierpont Byzantine Majority Text (Public Domain); Strong's dictionary, 1890 (Public Domain).

Typography: Google Noto fonts (SIL Open Font License 1.1).

© SEE MORE JESUS • wanttoseemore.com — shared under Creative Commons Attribution 4.0 (CC BY 4.0).